

「室蘭市緑の基本計画（素案）」への パブリックコメントの実施結果について

1. 実施概要

(1) 募集期間

平成31年1月4日（金）～ 平成31年2月4日（月）

(2) 公表場所

市ホームページ及び広報紙への掲載

市内公共施設への設置（10箇所）

- ・ 室蘭市役所本庁舎（1階証明交付コーナー）
- ・ むろらん広域センタービル（1階戸籍住民課）
- ・ 蘭東支所（「えきがるセンター」東室蘭駅自由通路東口）
- ・ 保健センター（3階）・水道部庁舎
- ・ 生涯学習センター「きらん」・室蘭市体育館
- ・ 市民会館・母恋会館・本輪西会館

(3) 提出方法

公表場所に設置している意見箱への投函及び土木課への持参・郵送・ファクス・電子メールによる提出のほか、市ホームページからの電子申請

2. 提出意見数

9件（4人）

3. 意見等の概要と室蘭市の考え方

次ページのとおり

「分類」欄の番号の説明

- ：今回の計画及び取り組みの方向性として、意見等の趣旨を反映させていただいたもの
- ：意見等の趣旨が計画及び取り組みの方向性として、既に予定されていたもの
- ：今後、施策事業を検討・実施する際に参考にさせていただくもの
- ：意見等の趣旨を計画及び取り組みに反映できなかったもの、またはその他の意見等

提出者	意見等の概要	分類	室蘭市の考え
A 1	<p>胆振エリアの街路の景観がここ10年でかなり荒廃してきているこのままでよいのだろうか？。特に公園、道路沿いの植栽などの荒廃が目立つ。たとえば公園や道路沿いの植栽部の上に電線があるのに植栽を行い道路を整備していることも問題ではないだろうか？。植栽木はなぜか低木ではないので成長したら電線に近接するため北電さんが樹形を考えずにずたずたに切ってしまう、木があたかもトテムポールのような貧しい町並み景観がどんどん広がってきています。</p> <p>北電さんにしてみればライフラインの確保のためどんどん邪魔な部分を切り刻むという仕事を真剣にしているのですが、樹形を考えないので風景がどんどん死んでいくのです。</p> <p>なぜこのようなことになったか考察してみました</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)近年の災害で倒木被害を経験したため管理を必要以上に安全側にしている 2)北電さんとの調整・話し合いがまったく出来ていない 3)剪定業者へ樹形を考えた整姿剪定などコストのかかる作業を指導しない <p>などが考えられると思います</p> <p>市民のなかには札幌や東京などでは樹形を大切に管理を実施している場所が多いのになぜ地方の緑が多い地域で貧しい風景をどんどん作るのだろうか？と疑問に思う方も多々居るようです。</p> <p>北海道は観光客が道内にいったん入ったら雄大な風景や都会にない自然を大切にしたい風景、緑の存在を堪能しに来ている部分もかなり多いはず。市民や町を訪れる人々に樹形の整った風景は安らぎと地方を訪れた印象深い思い出になります。今一度、文言だけで緑を大切にというだけでなく現実の問題にどれだけ真剣に立ち向かえるかが未来の室蘭の緑のあり方を大きく左右すると思います。現在の緑のあり方を見直して欲しいと思います。</p> <p>後日、コメントに添えて緑の現状の写真集を提出させていただきます。</p> <p>室蘭市民では無いのにこんなことを言い申し訳ありません。この問題は西胆振共通の問題なのでコメントさせていただきました。</p>		<p>街路樹は、生育と共に道路を通行する車両や周辺の電線などの支障とならないよう、定期的に剪定を行う必要がございます。</p> <p>そのため、当計画（素案）では、街路樹の役割や機能を保持するため、樹木の育成管理と適切な維持管理に努めるとともに、美しい街路の景観形成を図り、安全性にも配慮した市民に親しまれる道づくりに努める方針を明記しております。</p> <p>街路樹の維持管理につきましては、当計画（素案）に位置付けた本市の方針に基づき、関係機関への啓発や連携の強化、並びに技能者の育成を図り、良好な景観の形成や魅力向上に資するよう努めて参りたいと考えております。</p>

提出者	意見等の概要	分類	室蘭市の考え
B 2	<p>市サイトのリンクに問題があり、計画書がダウンロードできません。</p> <p>アンケートデータによると、緑に関心のあるのは、港南、白鳥台、八丁平と緑豊かなところと考えられる。環境問題は前提として、市として「大自然のある北海道の中の室蘭」という位置づけを考えているのか、よくわからなかった。他のパブリックコメント(立地適正化計画、水道ビジョン)ともつながるのが、人口減ります、お金がないです、といったこと。減るのが前提、増やす論理がない。しかし、室蘭が工業化以前に、北海道の中の自然生態系の中でこういった位置づけにいるかを考えることが重要。緑地を市全体、近隣地域でトータルで考えるなら例えば「鳥の目線」など自然関連の市民団体等の意見が参考になるはず。北海道全体の自然につなげた市全体の緑地生態系から各地のポジションを明快にすると北海道ブランドに繋げた人口増加のための売りを作ることができるのではないかと思います。</p> <p>さまざまなところから、市による木の伐採への疑問の声が聞こえてきます。</p> <p>これは、かなり昔からのようです。本州へ行くと、数百年から数千年にわたって保護しているものがたくさんありますが、こういったお金にならなくても、自然や生き物を大切にすることが、子孫へも伝わり、来訪者にも良いイメージとして伝わるものです。北海道 150 年という歴史の中で、室蘭市は、合理性や目新しさを追究しがちに見えます。シンガポールでは直径 5cm 以上の木を切ると罰則がありますが、そこまでいかなくとも、人口減りました、お金がないからできませんとなる以前に、文化度の高さ(こころの豊かさの象徴)ともいえる木の保全を木 1 本の生態系を考え、それがさまざまな効果があることを理解した施策を希望します。</p>		<p>本市は半島地形など特徴的な自然・景観資源を有するとともに、市街地部においても緑地や公園など多くの緑が存在しておりますが、近年これらの緑の減少は、地球温暖化や生物多様性の減少など生活環境の悪化を招く重大な問題となっております。そのため当計画(素案)におきましては、緑を“守ろう”“活かそう”“育てよう”という3つの基本目標を掲げ、環境問題や観光資源に資する室蘭らしい自然・景観の保全に取り組み、にぎわい創出につなげて参りたいと考えております。</p>
B 3	<p>いま、市の学校は廃統合され、記憶を辿るものが続々と失われています。</p> <p>公園には、災害時の避難場所機能もあることから、建物より残しやすいでしょう。そうであれば、思い出となる木などを簡単に破壊せず、保存していること自体を PR するような施策はいかがでしょうか。北海道生まれの人は北海道に帰る人が全国的に見て多く、室蘭へ帰ろうとしたとき、記憶を辿るものを残しておくことは大切です。いま大切なのは、多くのお金を使わなくても価値をつくり伝えることです。</p>		<p>人口減少による公園利用者の減少、少子高齢化による公園利用者層の変化や、本市を取り巻く社会経済情勢の変化による維持管理効率化などの問題に対応するため、将来的な公園の統廃合や機能集約を検討することとしておりますが、地域住民のニーズを踏まえ地域の将来像を共有し、地域の魅力向上に努めて参りたいと考えております。</p>

提出者	意見等の概要	分類	室蘭市の考え
C 4	<p>一部、管轄外かもしれませんが、広義の「室蘭市の緑」に関してですので、庁内連携の上対応ご検討をお願いしたいと思います。</p> <p><保存樹木について></p> <p>計画素案を見ると、保存樹木の目標値を現状維持の9箇所としています。これを増やさないのはなぜでしょうか。室蘭市内には市民から広く親しまれ愛される木が多数あります。崎守町の一本桜や幌萌町の大桜、知利別町の「あんぼんたんの木」など枚挙に暇がありません。これはどんどん増やすべきだと思いますし、それこそが、室蘭市が緑を守る街であると内外に示す一つの姿勢になると思います。是非検討して頂きたいです。</p>		<p>本市では、室蘭市緑化条例に基づき、現在ある自然環境を保存するため、地形や生育状況、歴史などの観点から保存すべきと認められた樹林の内、一定程度以上の面積を有するもの9箇所を保存樹林に指定しております。</p> <p>当計画(素案)におきましては、価値ある樹林を今後も保存し続けることを目的に、保存樹林の目標値を9箇所(現状維持)として設定しました。</p> <p>また、保存樹木につきましては、同じく室蘭市緑化条例に基づき、樹径など一定の基準を満たす樹木の内、所有者または権利者の同意を得たものを保存樹木に指定しており、今後も必要に応じて指定を検討して参りたいと考えております。</p>
C 5	<p><街区公園の管理費について></p> <p>こちら削減の方向性が示されていますが、現在でも時期によっては、各公園は草でボーボーです。これは適切に管理しようと考えた場合、上がるのが自然かと思えます。市民の協力を得て管理しようとしているようですが、高齢化や共働き世帯の増加で、公園の管理まで手が回らないのが地域の実情かと思えます。</p> <p>現状、維持管理費が年間2600万円ということですが、この費用は市の予算総額に対する割合として、そんなに問題になる金額でしょうか。水素自動車3台分強ですが。</p> <p>草の伸びた公園は小動物や昆虫の繁殖の場になったりと衛生面の心配もありますし、防犯面でも心配で、市民の健康と安全に直結する部分ですので、むしろ増額をお願いしたいです。</p>		<p>街区公園の維持管理費の削減目標ですが、今後、人口減少・少子高齢化が進む中で、財政状況も厳しさを増すことが予想されますことから、これまで整備してきたストックを最大限活用したまちづくりへの対応が求められており、当計画(素案)におきまして、緑を“活かそう”という新たな基本目標を掲げております。</p> <p>この目標を達成するための取り組みの一つとして、小規模公園については人口減少により将来的に利用者減が予想される公園や類似機能を有する公園が密集している地域を対象として、市民ニーズを踏まえ統廃合や機能集約により管理水準を保持した上で維持管理経費の削減を図っていき、地域の魅力向上、公園の利用促進に努めて参りたいと考えております。</p>
C 6	<p><街路樹・公園の樹木の適切な管理について></p> <p>市内を歩いていると、乱暴な剪定の仕方をされて、トーテムポールのようになってしまった木の痛々しい姿をよく見かけます。あんな乱暴な切り方をする必要があるのでしょか。</p> <p>他のまちでは、まっすぐに伸びた街路樹の並木道や、木漏れ日の爽やかな公園をよく見かけます。一方でどうして室蘭の街路樹は、あんなにちんちくりんで、みっともない姿なのでしょう。電線への干渉などの問題もあるのだと思いますが、できるだけ木の生態に沿った、できるだけ自然な姿を維持できる管理をお願いしたいです。</p>		<p>街路樹は、四季を感じさせ、道路景観に彩やうるおいを与えるといった景観面での効果をもたらします。そのため、当計画(素案)では、街路樹の役割や機能を保持するため、樹木の育成管理と適切な維持管理に努めるとともに、美しい街路の景観形成を図り、安全性にも配慮した市民に親しまれる道づくりに努める方針を明記しております。</p> <p>今後、当計画(素案)に位置付けた本市の方針につきまして、関係機関への啓発を図るとともに、連携を強化しながら、良好な景観の形成や魅力向上に資する街路樹の適切な維持管理に努めて参りたいと考えております。</p>

提出者		意見等の概要	分類	室蘭市の考え
D	7	<p>・景勝地の太陽光発電について 土地主がいるので仕方ない事もあるかもしれないが、観光面も考えて市でもある程度制限することはできないのか。</p>		<p>無秩序な開発行為などにより、自然・景観が損なわれることを防ぐ必要がありますことから、本市の景勝地とその周辺の多くは、保安林や環境緑地保護地区に指定されており、その区域内で土地の形質を変更する行為に対して一定程度の制限を設け、自然環境の保護に努めているところでございます。</p>
D	8	<p>・街路樹の減少について 雪害による停電などの影響で切られ、随分街路樹が減少したと感じる。新しく植えられたものも育たず、土地柄や気候に合わせた樹種の選定が必要と感じる。専門家と共にトータルなデザインとある程度丁寧な育成が必要なのは。</p>		<p>街路樹の樹種につきましては、近年は道内で街路樹として多く植えられており、室蘭の木として指定しているナナカマドを選定するなどしておりますが、街路樹の選定にあたりましては、丈夫さや美しさのほか、維持管理の容易さや倒木の危険性など、様々な要件を考慮する必要があり、樹木の順調な生育を促すためには多様な特性を持つ樹木の中から地域の特性に合わせた樹種を選定することが重要となりますことから、今後は、市民ニーズの把握とともに、専門家のご意見も取り入れながら適正な樹種選定に努めて参りたいと考えております。</p>
D	9	<p>・住人がいない商業地域の雑草について 道路沿いに雑草が生い茂り、見通しが悪く危険な事がある。商店がある場合は除草、除雪の協力を声かけできないか。街の見栄えも使い勝手も悪い。</p>		<p>本市におきましては、道路沿いや公園の草刈りを定期的実施しているほか、まち「ピカ」パートナー事業など市民のご協力をいただいております。今後におきましても行政と市民が連携・協働した取り組みを更に推進していくほか、緑に関するイベントや緑に携わる方々の交流を通じ、地域の皆様が相互に理解を深め、地域の課題解決にやりがいや楽しさを感じながら取り組めるような環境づくりに努めて参りたいと考えております。</p>